

フォーラム

# フランスに学ぶ パリテ法の成果と課題

日時：2020年11月24日(火) 13時～17時

会場：同志社大学 志高館 SK111 (地下鉄「今出川」より北へ徒歩10分東側)

運営方法：ZOOM 参加費：無料 ※フォーラム申込方法は裏面をご覧ください。

総合司会 藤野敦子(京都産業大学教授)

ZOOMホスト 大東貢生(仏教大学准教授)

進行管理 後藤安子(京都光華女子大学講師)

☆開会挨拶 富士谷あつ子(評論家・京都文化創生機構理事長)

☆メッセージ 赤松良子(財団法人日本ユニセフ協会会長,元文部科学大臣, Qの会代表)

伊藤朋子(笹川日仏財団東京事務局長)

☆報告と提言

1. 「子育て・労働・老後保障におけるジェンダー格差の克服を」

富士谷あつ子(評論家・京都文化創生機構理事長)

2. 「国会議員及び地方議会議員調査からみえるもの」

新川達郎(同志社大学大学院教授)

☆講演「法律から実質へ：フランスの実生活における

女性と男性の平等 — フランス外交官の視点から」

ジュール・イルマン(在京都フランス総領事)

☆鼎談「パリテ法の制定過程と制定後の成果と課題」(録音・録画参加)

デアアンヌ・ロマン(パリ第1大学教授)

ステファニー・ヘネット・ヴォーシェ(パリ第10大学教授)

シモン・サルヴァラン(上智大学准教授)

☆質疑応答

コーディネーター 香川孝三(神戸大学名誉教授)

質問者 伊藤公雄(京都大学名誉教授)

進藤久美子(東洋英和女学院大学名誉教授)

応答者 シモン・サルヴァラン(上智大学准教授)

ジュール・イルマン(在京都フランス総領事)

コメンテーター 上杉孝實(京都大学名誉教授)

☆閉会挨拶 塚本利幸(福井県立大学教授)

主催：男女共同参画推進実行委員会 共催：同志社大学地方自治研究会

助成：公益財団法人 笹川日仏財団 後援：日本ジェンダー学会

連絡先：〒606-8174 京都市左京区一乗寺染殿町40-605 京都文化創生機構気付

男女共同参画推進実行委員会 電話 075-781-9699 FAX 075-791-2219

E-mail : lifelong@live.jp URL <http://kyoto-bunka.jp/>



赤松良子氏



富士谷あつ子氏



新川達郎氏



藤野敦子氏



ジュール・イルマン氏



シモン・サルヴァラン氏



デイアンヌ・ロマン氏



ステファニー・ヴォーシュ氏



香川孝三氏



伊藤公雄氏



進藤久美子氏



上杉孝實氏



塚本利幸氏



大東貢生氏



後藤安子氏

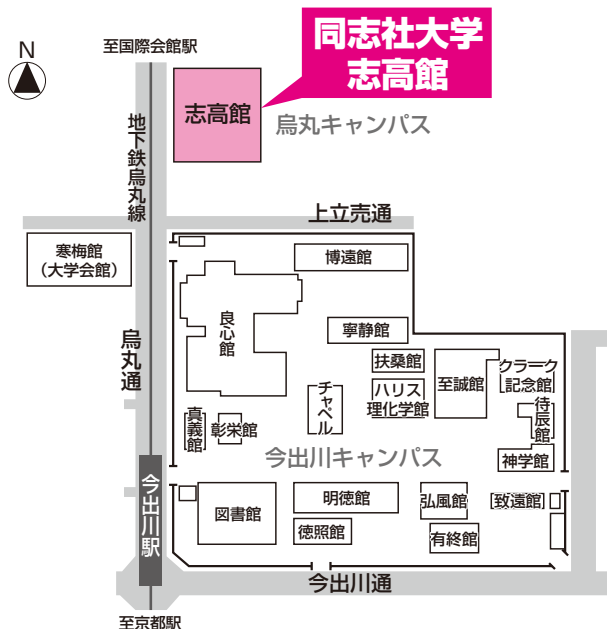
### 趣旨

日本の女性の現状は、子育て・介護・家事分担の偏重、労働の場における不平等・老後保障の性別格差など、改善すべき喫緊の課題を抱えている。国際的にみて日本は意思決定の場、とりわけ政治の場における女性比率の低さが問題であると考えられる。2018年に政府は「政治の場における男女共同参画推進に関する法律」を制定した。しかし、2019年の統一地方選・参議院選においても事態の改善は見られなかった。にもかかわらず政府は、2020年7月、意思決定の場における女性比率3割の達成を見送ることを決定した。

これに対しフランスでは、2000年に「パリテ法」を制定し、国及び地方の選挙において、候補者選出の段階から男女の比率が均等であることが求められ、当選者の男女比率の均等化を急そうに進めた。その成果は女性の働きやすさや少子化抑止等に成果が明らかである。われわれはこれを学ぶべきである。

我々男女共同参画推進実行委員会は、ジェンダー平等を希求する研究者・活動家によって構成される団体であるが、ここにおいて笹川日仏財団の助成により、フォーラム「フランスに学ぶパリテ法の成果と課題」を開催することとする。

### 同志社大学志高館 付近図



### 参加申し込みについて

下記 URL・QR コードにアクセスの上、必要事項をご記入いただき送信してください。

折り返し、ZOOM の URL 等をご連絡いたします。

パソコン用 URL

<https://ws.formzu.net/fgen/S25087035/>

スマホ用 URL

<https://ws.formzu.net/sfgen/S25087035/>

申込用 QR コード



申込に関するお問い合わせは、

[forum2020entry@gmail.com](mailto:forum2020entry@gmail.com) まで。